



●議員は原則2期・最長3期で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク
Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F
tsukubahotnet@ybb.ne.jp
https://tsukuba-net.jp



2019年7月24日 vol.59

投票すれば終わり？



参議院選挙が終わりま
した。皆さんは、どんな思
いで投票に行きましたか？
選挙の結果はこれから
の暮らしにどう影響する
のでしょうか？

年金は…



「老後二千万円問題を認め
ない」ためだけに報告書そ
のものを受け取らない
・幼児教育を無償化すれば
必ず表面化する保育士不
足には全く触れない
・求人倍率は上がっても非正
規雇用の比率は今や約40%
・「働き方改革」を唱えなが
ら、誰の何のための改革な
のかを全く議論しない
など、問題の本質には触れら
れないままです。一方で「戦
機、爆買い」「今こそ改憲と
いったアブナイ話は絶えま
せん。」



ここ茨城で今直面している
のは「東海第二原発の再稼
働」問題。
再稼働は県知事の同意で
進められますが、知事は県民
の意思を確認する手段につ
いて未だ明言していません。
どのように民意を把握する
つもりでしょうか？



これらの問題は、遠いどこ
かで起きている事ではなく、
日々の暮らしに直結した事
ばかり。生活は政治に繋がっ
ています。

POST CARD

305-8790

つくば市二の宮 2-1-3
クラフトビル 1F

つくば・市民ネットワーク行



郵便切手は
いりません

「大事なことは自分で選ぶ」「自
分の事として意思を表明する」機
会になる「県民投票」を実現しま
せんか？そして自分の意思を示
しましょう！
生活は政治です。



県民の意思を確認する方法に
「県民投票」があります。原発30km
圏内に住む94万人の方々はおち
ろん、わずか60kmしか離れていな
いつくば市民にとっても東海第二
原発の再稼働は、決して他人ごと
ではありません。

原発県民投票を求める署名活動
ご協力いただける方はご連絡ください
(FAX、メールでも結構です)

〒	ご住所
	お電話
	お名前

ご意見等ありましたらお書きください

議員と話そう!会

定例市議会の報告を兼ね、代理人(市議)の
北口、宇野、皆川、小森谷を交え、様々な情報と
意見交換を行います。お気軽にご参加ください。

8月21日(水) 10:00~12:00 荃崎交流センター 工作室
8月22日(木) 14:00~16:00 つくば・市民ネットワーク事務所
8月23日(金) 10:00~12:00 竹園交流センター 大会議室
8月25日(日) 10:00~12:00 つくば市役所コミュニティ棟 会議室 6

どうする？つくばの教育 子ども達に必要な学びは？

昨年よりつくば市総合教育会議で、つくば市の目指す教育の方向性について教育大綱を策定中です。議論のスタートとして、第1回の会議で市長から10の問いが出されました。

- こどもたちは学校を楽しんでいるのか？
- こどもたちは授業を楽しんでいるのか？
- 卒業時にこどもが知っているべきことは？
- 学校は何をやる場所なのか？
- 先生の役割は何なのか？
- 先生はなぜ忙しいのか？
- 先生の自己肯定感はどうなのか？
- 公教育の目的はどこにあるのか？
- こどもはどういう存在なのか？
- 変えなくてはいけないことは何なのか？

この10項目について委員が意見交換し、その後、各分野の講師を招いての勉強会、オランダのイエナプラン教育の視察報告、さらに、校長先生やPTA会長からの意見聴き取りなどを実施しました。秋ごろまでに案がまとめられ、その後、パブリックコメントが実施されます。

これまでの会議の議論を見てきて、私は特に次の2点については教育大綱に盛り込む必要があると考えます。

まず、現場の校長先生の多くが要望している人材の確保。多忙を極める教育現場に人が補充されることで、先生が子どもとじっくり向き合う時間ができ、様々な課題が解決されると思います。

もう1点は、教育について学校現場や地域で対話し、学校単位で“学び”を深める取り組みが行えるように、イエナプランを題材として議論を進めることです。教育長や市長が視察に行ったオランダのイエナプランは、一人ひとりが様々な活動に主体的に関わり、学びを深めることを重視した教育です。一斉授業ではなく、異年齢による少人数のグループワークで学んでいくスタイルが特徴です。子ども自らが発信し、受け取り、合意形成できるよう教師がサポートすることで、深い学びが得られます。日本の学習指導要領の下でも、イエナプランのコンセプトを取り入れていくことが可能と言われています。総合教育会議では、委員や校長先生から導入に前向きな意見も出ていました。

今回の教育大綱をきっかけに、先生同士や保護者、地域住民が、自分たちの学校や教育について話し合い、見直していけるよう取り組んでいきます。



つくば市議会議員
市民経済委員会副委員長
皆川ゆきえ

一般質問項目

- ・市民主体のまちづくりについて
- ・つくば市教育大綱について



つくば市議会議員
総務委員会副委員長
小森谷さやか

一般質問項目

- ・子宮頸がんワクチンについて
- ・農業（除草剤・殺虫剤を含む）の使用について

除草剤、殺虫剤の使用に気をつけて！

世界が規制強化に舵を切っているのに、なぜか日本では規制が「緩和」されている農薬があります。グリホサート製品とネオニコチノイド系製品です。グリホサートは除草剤の主成分で、「ラウンドアップ」という商品名が有名です。特許が切れたので価格が安くなり、100円ショップをはじめ、あちこちの店頭にズラリと並び気軽に使われています。

しかしアメリカでは、大企業を相手に学校の用務員が「グリホサートを散布したせいで癌になった」と訴訟を起こし、去年の夏、勝訴しました。今年に入ってから2件勝訴（そのうち1件の賠償額は20億ドル！）。今や同様の訴えがアメリカ国内で13,000件以上起こされ、フランスでは今年1月に販売禁止、その他20カ国以上が規制強化を表明しています。しかし、日本では逆に2017年に大幅規制緩和しているのです（表参照）。

また、殺虫剤の主成分であるネオニコチノイドは、昆虫の神経系を狂わせる作用があるのですが、害虫だけに効果を示す…わけではなく、ミツバチやトンボなどの益虫や鳥の数も激減させていますし、ヒトへの毒性も指摘されています。2013年頃からEUが、昨年からアメリカやカナダ、韓国でも規制が始まっています。しかし、これについても日本は規制を緩和しています。

大幅に緩和された
日本のグリホサート残留基準値(ppm)

	改正前	改正後	変化
小麦	5.0	30	6倍
ライ麦	0.2	30	150倍
そば	0.2	30	150倍
てん菜	0.2	15	75倍

2017年12月改正 厚生労働省資料より



国会質疑や市民団体からの指摘に対しても政府は「安全」の一点張りで、市民の健康や環境を考えた政策をとる動きはありません。では、地方自治体で何ができるのでしょうか。私は以下の2つを要望しました。

① 除草剤等、農業散布の際の注意事項をまとめた市独自のリーフレットを作成し、販売店で配布・掲示してもらう。

（昨年も要望し販売店に県作成のパンフを置いてもらいましたが、一般の方には内容が分かりにくい）

② 学校給食にオーガニック・特別栽培農産物など、減農薬のものを使用する目標を立てる。

（今治市や茨木市、いすみ市など他自治体でも取り組みあり）

五十嵐市長は「JAと協議、相談をしながら、どういうところから何ができるかというのを考えていきたい」との答弁でした。引き続き要望していきます。

つくば市政治倫理審査会条例の一部改正に反対した理由は…

今回提案された条例改正の内容は、審査会委員の選出について「委員は、法律または会計に関する専門的知識を有する者及び市民で地方行政に関し優れた識見を有する者」と規定され、実質として、市民委員の選出が公募ではなくなるというものでした。

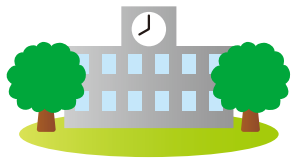
つくば・市民ネットワークは発足以来、“市民主体のまちづくり”“市民参加の推進による開かれた市政”を訴え、昨年やつくば市で「市民参加推進に関わる指針」が定められ、多くの審議会等で公募による市民委員の選出が実現しています。このような中、政治倫理審査会についても市民委員を公募で選出すべきと考え、反対しました。

条例改正は賛成多数で可決しましたが、今後も市民ネットは政治倫理審査会の委員公募について議論していきます。

TX沿線の人口増加に学校建設が追いついていない！



つくば市議会議員
都市建設委員会副委員長
宇野 信子
一般質問項目
・TX沿線開発地域の学校
過密問題について



現在、TX沿線の人口急増に対応するため、みどりの学園義務教育学校で15教室、学園の森義務教育学校で27教室を増築中です。しかし、2～3年後にはそれでも足りなくなるという推計が発表されました。そこで、このような事態になった原因と今後の対応について質問しました。

施設一体型小中一貫校の推進が原因！

TX沿線開発計画ができた2001年には、研究学園駅周辺とみどりの駅周辺にそれぞれ小学校2校と中学校1校の用地が確保されていました。これに対して、2014年の学校等適正配置計画では、施設一体型小中一貫校を1校ずつ建設する計画に変更され、もう1つの小学校は計画から消えてしまいました。しかし今、TX沿線の人口増加により、やはりその小学校を作らなければ間に合わない状況になりました。

市民ネットは「施設一体型小中一貫校では、TX沿線の人口増に対応しきれず教室不足になるのではないかと懸念し、「増築で対応できる」と主張する学務課に根拠の資料開示を求めましたが、当時は資料が出されず、それ以上の追求ができませんでした。

また、2012年の市長選で市原前市長が公約に「一体型小中一貫校の整備促進（筑波東中学校等）」を掲げ、学校等適正配置計画を大幅に前倒して新設したことも、TX沿線の学校建設が遅れる一因になったと考えられます。

コンサルタント任せにせず、自ら推計する体制を！

今回入手した資料によると、2014年の適正配置計画では沿線開発のスピードが遅く想定されており、2014年頃から人口増加のスピードが上がって、見込みから外れていきました。毎年調査していれば、もっと早く気づいたはずですが、しかし、児童数の推計を庁内で行わず、コンサルに5年毎に委託していたため、人口急増の影響把握が遅れたことが分かりました。



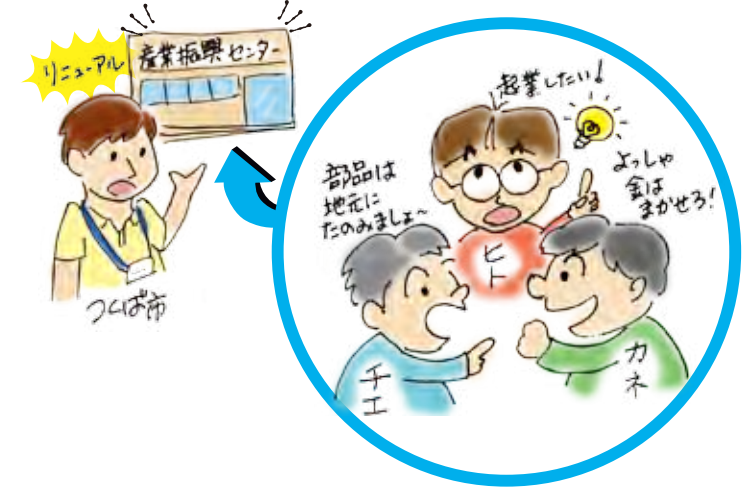
大事な部分をコンサル任せにすると、実態がつかめず課題の発見が遅れ、施策が後手に回って税金の無駄遣いにもつながります。そこで、推計を庁内で行う体制づくりと、早急に両地区にもう一校ずつ小学校の建設を決断するよう提案しました。

「スタートアップ」… 市が取り組む理由

つくば市は昨年12月に「つくば市スタートアップ戦略」を策定し、スタートアップ推進に取り組んでいます。でも…大方の市民には「何じゃそりゃ?」の世界ではないでしょうか。

スタートアップとは、いわゆるベンチャーの中の一つの形ですが、特に「急成長」する「新たなビジネス」の企業や事業の総称です。

研究機関が集積するつくば市には、すでに筑波大学やJAXA、研究支援センター始め、産総研、物材研などにベンチャー支援の体制があります。このような中、何故、税金を投入し、つくば市がスタートアップ推進に取り組むのか、一般質問しました。



何故、つくば市が取り組むのか？ つくば市には、他のまちにはない眠ったままの研究成果が集積しており、それらを社会の課題解決につないでいくことこそがつくば市の仕事だと思うと市長は答弁しています。また、各研究機関に支援体制はありますが、一堂に集まることで、新たな連携や事業化が生まれる可能性があり、つくば市は‘マッチング’や相談する場の提供として産業振興センターをリニューアルし、スタートアップ創出を進めていく考えです。

担当部長からはスタートアップの推進により、「革新的な技術開発や社会問題の解決、新たな産業の創出等が期待される。」ひいては「将来的に若者の移住定住や雇用創出、税収増加、つくばの持続的な発展につながると考えている」との答弁がありました。

「地元企業の育成が優先課題じゃないのか？」という声がありますが、市長は、スタートアップ自体を地元企業が取組まずとも、スタートアップ関連の製品を供給したり、協働することで、ビジネスモデルを学び、経営面で地元企業の新しい道が開ける可能性もある、また一つの会社ができれば、会計や事務も必要で雇用が生まれ、つくば市全ての人たちにとって働く場の提供につながっていくと考えている旨の答弁でした。

今は人口増のつくば市ですが、全国的な少子高齢化の波は避けられないと予測され雇用創出・定住促進に期待を寄せたい反面、ややもすると新しいビジネスや技術の裏側にある危うさも懸念されます。つくば・市民ネットワークは引き続き注視していきます。



つくば市議会議員
議会運営委員会委員長
文教福祉委員
北口ひとみ
一般質問項目
・幼児教育・保育の無償化について
・スタートアップについて

2019年6月議会議決結果 ※「春日旧消防本部棟及び消防署跡地を商工会へ貸与することに関する請願書」は趣旨採択となりました。

議決の結果 (○：賛成、×：反対)		会 派 名	つくば・市民 ネットワーク	自民つくばクラブ ・新しい風	つくば市政クラブ	日本 共産党	公明党	つくば 政清会	山中 八策の会	新 社会党	創生クラブ はがくれ
議案	つくば市政倫理審査会条例の一部を改正する条例について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	退席
請願	「核兵器禁止条約」への参加(調印・批准)を求める意見書の提出を求める請願書	不採択	○	×	×	○	×	×	×	○	×
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表 (議員数28 議長:神谷)			*皆川、北口 宇野、小森谷	*小久保、久保谷 ヘイズ、五頭 神谷、黒田、長塚	*塚本、鈴木、須藤 柳沢、高野進、大久保	*滝口 橋本 山中	*小野 浜中 山本	*木村修 木村清	*塩田	*金子	*高野文



2019年7月24日 Vol.59

市民ネットワーク3つのルール

1. 議員は原則2期・最長3期で交代
2. 議員報酬は市民の活動費
3. 選挙はカンパとボランティアで

「暮らしやすいまちづくり」を自らの手で



2019年市民ネット政策

- ・市民自治ができるまちづくり
- ・子どもの健やかな成長を支える環境づくり(教育・子育て)
- ・高齢者も障がい者も誰もが安心して暮らせる地域づくり(高齢、障がい・人権)
- ・住みやすいまちづくり
- ・安心・安全な食・水・農業の推進
- ・環境を守り、循環型社会をつくる
- ・脱原発を実現し、自然エネルギー中心のまちづくりと放射能汚染対策
- ・立憲主義を堅持し、憲法の3原則(基本的人権の尊重、国民主権、平和主義)を守る



つくば・市民ネットワークは、子育てや教育、高齢者の暮らし、まちづくりへの市民参加などのテーマごとに部会を作り活動しています。その活動から新たな人のつながりができ、さらに取り組みが広がっています。

最近では各種委員会や審議会への市民委員公募、農薬散布に関する注意喚起のチラシ配布、柔軟剤等の香りに弱い子ども達への心遣いをお願いする学校からの手紙の配布、などが実現しています。

今後も市民の意見を基に話し合いながら「誰もが暮らしやすいまち」をめざします。

主な活動報告

4/10 福島第一原発視察
4/20 原子力市民意識調査学習会参加
4/21、5/26、6/23 財政白書づくりの会参加
5/5、6/2、7/7 つくいちプレイパーク(中央公園)参加
5/ 6 原発県民投票カフェ@つくば参加
5/ 9 議会全員協議会
5/ 9、5/21 議会活性化推進特別委員会
5/13、6/10、7/8 きつつきプレイパーク(研究学園駅前公園)参加
5/14 東海第二原発反対議員連盟総会参加
5/15～17 議会運営委員会視察(加賀市ほか)(北口)
5/14、16、18、24 議員と話そう会開催
5/16、23 容器包装プラスチック分別お知らせ活動参加
5/19 原発県民投票フェス@水戸参加
5/21 中心市街地まちづくり特別委員会
5/24、25 筑波西中跡地利活用に関する地元説明会参加
5/24 講演会「からっぽの冷蔵庫から ～子どもの貧困とフードバンク～(米山けい子さん)」参加
5/24 「自分ごと化会議in松江はなぜ成功したのか」参加
5/25 ごみ減量のためのワークショップ参加
6/ 1 ダンボールコンポスト講習会開催
6/ 8 講演会「こども☆いのち☆ゆめ(前川喜平さん)」参加
6/11～6/28 6月議会本会議
6/11 もうちよい住みよいつくばの会参加
7/ 2 就学学習会参加

※テーマごとの部会活動の他、市の各種委員会・審議会も傍聴しています。

Webページリニューアルしました

7月1日、つくば・市民ネットワークはホームページを全面リニューアルしました。今回の目玉は「今日の事務所」。事務所の様子やさまざまな活動を毎日アップしていきたいと思います。

また、署名活動や各議員の活動もわかりやすくなりました。

ぜひ、ご覧ください。

リニューアルページはこちらから →



傍聴記

TX沿線の学校過密問題についての質疑応答があると聞き、初めて傍聴にいきました。学園の森・みどりのの小中一貫校の過大規模化の現状と今後の児童数の推移など、市民ネットからの資料もあり、とても分かりやすく話を聞くことができました。

開校2年目にして校舎の増築が必要になった経緯、増築しても、さらに2、3年後にはまた教室が足りなくなる見込みであるという状況は、正直不安になりました。つくば市の学校等適正配置計画では5年ごとに計画の見直しを行うとしているところを、現状を受け柔軟に対応を検討しているとの話もありましたので、早急に対応されることを願います。

今回初めて市議会の傍聴をしてみて、まずは自分が気になる議題からでも市政に興味を持って、知ることは大事だと感じました。議会のインターネット中継などがあることも初めて知ったので、今後はそちらも利用してみようと思いました。(Y. K)

こんなふうに使っています

政務活動費

市議の政務活動費は1人当たり3万円/月が交付されています。報告書・領収書を市に提出し、残金がある場合は市に返却します。2018年4月～2019年3月の4人分、144万円について報告します。

科目	金額(円)	主な支出の内訳
研究研修費	165,570	東海第二原発反対議員連盟総会、東部療育センター見学、財政白書のつどい参加、全国市民政治ネットワーク交流集会、たねと食とひと@シンポジウム
調査旅費	188,956	自分ごと化会議in松江視察
資料作成費	229,229	会派室パソコンレンタル、議会事務局コピー機使用料等
資料購入費	226,785	登記簿開示請求手数料、新聞・書籍代等
広報費	581,709	会派通信発行(印刷代及び新聞折込代)
合計	1,392,249	(残金47,751円は、市に返却しました)

議員報酬

つくば・市民ネットワークの活動費 (2018年1月～12月)

【収入】
前年度繰越 1186万円
会費・寄附など1491万円

【支出】
人件費 407万円
光熱水費 40万円
備品・消耗品費 59万円
事務所費 479万円
総会・行事費 67万円
通信等作成費 177万円
調査・研修費等 72万円
寄附 10万円
その他 5万円

【次年度へ繰越】
1361万円

2018年1月～12月

つくば市議会

1,458万円

寄附

法律に則り
資金管理団体を
通して寄附して
います



4人で

代理人活動費 760万円
経費(※2) 678万円



4人で

議員報酬
2,852万円
費用弁償(※1)等
44万円

※1 費用弁償: 議員報酬とは別に議員が議会や委員会に出席するときに、定額支給される旅費・交通費。(つくば市の場合、日額2,000円)
※2 経費: 代理人(議員)の国民年金、国民健康保険、所得税、住民税など。